

キャリア・ライフステージ 研修 実施 機関等 育成指標		基礎力の形成期			
		初任者研修			
		所属校 (150時間程度)	総合教育センター Ⅰ(3日間)、Ⅱ(3日間)、 Ⅲ(3日間)	教育事務所 (5日間)	市町村教育委員会 (1日間)
教員としての素養		・教員としての心構え ・教職員の福利厚生 ・男女共同参画の推進	・メンタルヘルス不調の要因と対処 ・感情のコントロール ・本県の求める教師像 ・本県教育の現状と課題 ・自己研修の意義と進め方	・専門職としての心構え ・身分と服務 ・社会人としての心構えとコンプライアンス	・新任教員に期待すること ・各市町村における教育課題
学習指導力	カリキュラム・マネジメント	・教育課程の理解 ・年間指導計画の作成 ・消費者教育の進め方 ・環境教育の進め方 ・学校全体で進める道徳教育 ・人権教育の進め方 ・健康教育の意義と進め方 ・食育の意義と進め方	・カリキュラム・マネジメントの在り方 ・プログラミング教育の意義 ・人権教育の推進		
	教科教育等の専門性	・資質・能力を育成する教科指導 ・教材研究の進め方 ・教材・教具の作成と活用 ・児童会活動の指導の実際 ・クラブ活動の指導の実際	・各教科における資質・能力の育成と指導と評価の基礎・基本 ・総合的な学習の時間の意義と進め方 ・外国語活動・外国語科の意義と進め方	・教材研究の方法と実際 ・道徳科授業の指導と評価 ・特別活動の指導と評価 ・教科授業の参観と実施 ・授業の分析 ・個に応じた指導の進め方	
	確かな学力を育む授業	・学習指導案・週案の書き方 ・授業参観の実施と振り返り ・研究授業の実施と振り返り ・授業における児童理解 ・評価問題の活用の仕方 ・宿題と家庭学習の在り方 ・学習態度の指導 ・個別指導・グループ指導・一斉指導の仕方 ・通知表の作成の仕方	・いわゆる授業づくり3つの視点を踏まえた学習者中心の授業実践・授業改善 ・ICTを活用した教科指導 ・発達と学びの連続性	・主体的・対話的で深い学びを視点とした学習者中心の授業実践・授業づくりの実際	
生徒指導力	発達支持的生徒指導	・児童理解の実際 ・多様性に配慮した集団指導と個別指導の方法と実際 ・児童への励ましと賞賛 ・学校における生徒指導体制 ・学校行事の指導の実際 ・学級経営案の作成と評価 ・学年経営と学級経営の関わり ・学級組織のつくり方と運営 ・学級活動の指導の実際 ・学級事務の進め方 ・教室環境の在り方と整備 ・(長期)休業中の生徒指導	・情報モラル指導の実践	・生徒指導の意義と進め方 ・学級経営の意義と進め方	
	いじめ等の問題行動・不登校等への対応	・不登校児童への対応 ・いじめ防止とその対応	・いじめ問題の対応と生徒指導	・問題行動の理解と指導の進め方	
	教育相談	・発達支持的教育相談と課題予防的教育相談 ・教育相談体制の理解	・児童理解と教育相談 ・カウンセリング技法の基礎・基本		
マネジメント力	学校組織における連携・協働	・学校教育目標と経営の重点 ・学校の組織と運営			
	危機管理	・学校安全の意義と進め方			
	関係者等との連携・協働	・PTAの組織と運営 ・地域社会における組織、関係機関の役割と連携・協働の実際 ・保護者との面談や保護者会、家庭訪問の進め方			・各市町村の教育関係施設の現状と活用
復興教育の視点		・「いわての復興教育」の実際	・「いわての復興教育」の意義		
キャリア教育の視点		・キャリア教育の進め方	・いわてのキャリア教育の意義		
特別な配慮や支援を必要とする児童生徒への教育の視点		・特別支援教育の実際 ・個別の指導計画等の活用 ・交流及び共同学習の意義と実際	・発達障がい等特別な配慮や支援を必要とする児童の基本的理解と支援の在り方 ・特別支援教育の意義 ・多様性と包摂性のある学校の在り方		
ICTや情報・教育データの利活用の視点		研修を通してICTや情報・教育データの利活用の意義を理解し、			

※ 複数の研修内容にまたがる項目は、主たる研修内容欄に記載している。

学校前期課程教諭 基本研修内容】

基礎力の形成期				
2年目研修			3年目研修	
所属校 自己研修(5時間程度) 校内授業研修(5時間程度)	総合教育センター (2日間)	教育事務所 (2日間)	所属校 自己研修(5時間程度) 校内授業研修(5時間程度)	総合教育センター (2日間)
・自己研修の推進 (5時間程度) ①P(2h程度,1回～n回) ②D(随時) ③C(3h程度,1回～n回) ④A(随時) 全部で5h程度を目安	・自己研修の発表と協議	・メンタルヘルス不調の要因と対処	・自己研修の推進 (5時間程度) ①P(2h程度,1回～n回) ②D(随時) ③C(3h程度,1回～n回) ④A(随時) 全部で5h程度を目安	・自己研修の発表と協議
	・教科指導における資質・能力の育成と授業改善 ・教科の目標等を踏まえた指導と評価の理解「社会科」「理科」「生活科」「音楽科」「図画工作科」「家庭科」「外国語活動・外国語科」	・特別活動(学級活動)の授業の参観と実施 ・道徳科を要とした道徳教育の推進		・教科指導における資質・能力の育成と授業改善 ・教科の目標等を踏まえた指導と評価の理解「社会科」「理科」「生活科」「音楽科」「図画工作科」「家庭科」「外国語活動・外国語科」
・校内授業研修 (年間1回5時間程度)	・いわての授業づくり3つの視点を踏まえた学習者中心の授業実践・授業の展開 ・ICTを活用した教科指導	・特別活動(学級活動)の進め方	・校内授業研修(年間1回5時間程度)	・いわての授業づくり3つの視点を踏まえた学習者中心の授業実践・授業の展開 ・ICTを活用した教科指導
		・学級経営における課題と改善		
				・いじめ問題への対応
		・基本的なアセスメントの進め方		
	・事件・事故災害発生時の危機管理			
	・「いわての復興教育」の在り方			
	・キャリア教育の現状と課題			
		・学級経営における多様な児童のニーズに応じた支援の在り方		
「個別最適な学び」と「協働的な学び」の実現や校務等での積極的・効果的な活用を図る。				